

下妻の夏まつり

夏の風物詩

が開催されます

ふるさとまつり連合渡御

と き 7月25日(土) 午後5時～午後9時
ところ 市役所千代川庁舎敷地内・庁舎正面通り



熱気あふれる「神輿渡御」、子どもから大人まで約1,000人の踊り手が浴衣姿や個性豊かな仮装に身を包んで踊る「千人おどり」、砂沼湖上から打上げられる約3,000発の花火が夜空を華やかに彩る「砂沼の花火大会」で、下妻の夏が熱く盛り上がります。

問い合わせ 産業振興課 ☎44-0732

下妻まつり(千人おどり・花火大会)

と き 8月1日(土)
千人おどり…午後6時～午後7時30分(予定)
花火大会…午後7時30分～午後9時(予定)
ところ 千人おどり…新町・はきもの助六付近から長塚・丸十パンまでの道路センターラインを境に周回します。
花火大会…砂沼湖上



馬場を疾走する姿は迫力満点

優雅なあじさい、勇壮な流鏝馬を楽しむ

あじさい祭り・流鏝馬神事 6月27日

大宝八幡宮の恒例行事「あじさい祭り」が境内のあじさい神苑で開かれました。野だてや草花の無料抽選会は「駅からウォーク」の参加者や観光客でにぎわい、小雨が降り続く中で元気を増した約300種4000株のあじさいが訪れた人たちの目を楽しませていました。

また、境内の馬場では関東最古の「流鏝馬神事」も行われ、狩装束に身を包んだ馬上の射手が的を射るたびに会場からは歓声と拍手が沸き上がっていました。

埼玉県三郷市から夫婦で訪れた中村守さん(71)は「流鏝馬を見るのは初めてだが、近くで見ることができて感動した。とにかく迫力がすごい」と話してくれました。



色鮮やかなあじさいがお出迎え

ほっとしポ・ライン Hot Repo Line 市民の声

黒駒自治区長を務める飯村省一さん(黒駒)からのお便りを紹介します。

上妻地区の黒駒には、耳の病に御利益があるといわれる不動尊が祀られています。森の奥にお堂が建てられていて、地元では隠れ不動尊とも呼ばれています。広い境内に足を踏み入れると何やら昔にタイムスリップしたような行まいで、参拝をしながら静かに森の木々の風にそよぐ音や小鳥のさえずりに耳を傾けると、「耳に優しいお不動様」の言い伝えが、なるほどと思われるような、そんな雰囲気があります。

ここに祀られている不動明王の木像は、享保年間(1700年代)の頃に、鬼怒川を流れてきたものを地元の人たちが当地にお運びしたといういわれがあります。以来約300年間、毎月1日、15日、28日にお不動様にお灯明を上げ、太鼓を打ち、お守りをしてきたものです。お堂にめぐらされた彫刻を見ると、昔の人たちの「耳のお不動様」にかけた願いが伝わってきそうな、そんな雰囲気もあります。

「耳不動尊」をご存知ですか？

黒駒不動尊では、毎年7月27日の夜に五穀豊穡、家内安全を願った伝統の「雨乞い祭り」が行われます。地区の若者たちが裸姿で大たらいを担ぎ、「散華散華、六根清浄」と唱えながら水をまく勇壮なお祭りで、当地方の奇祭としてNHKに取り上げられたこともあります。この水がかかると耳の御利益とともに、一年間無病息災に暮らせるという言い伝えがあります。

カメラ持参、濡れるのを覚悟で納涼方々「雨乞い祭り」を楽しんではいかがですか？



「雨乞い祭り」で盛り上がる地元の若者たち(黒駒不動尊・境内)

夏休みくわくふしぎ発見!!

植物とキノコの不思議な世界

共催：ミュージアムパーク茨城県自然博物館

2015 7/25日(土)～8/23日(日)



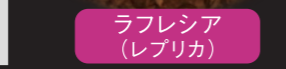
つちぐり(キノコクッション)



オオオナモミの実(拡大模型)



すっぽんたけ(キノコクッション)



ラフレシア(レプリカ)



■開館時間 午前9時～午後4時30分
■休館日 7月27日(月)、8月3日(月)、10日(月)、17日(月)
■入館料 一般200円(160円) 児童・生徒100円(80円)
※()内は15人以上の団体料金 ※65歳以上、小学生未満は無料
※下妻市内の小・中学生は会期中入館無料

下妻市ふるさと博物館 下妻市長塚乙77番地(ピアスパーク隣) 電話 0296-44-7111

有料広告欄

有料広告欄